

宇陀市子ども・子育て支援事業計画策定のための ワークショップ 実施結果概要

1. 開催の趣旨とテーマ

第3期計画の策定にあたり、子どもやその家族にとってやさしいまちづくりを進めていくために、保護者の方をはじめ、保健師や保育士の方にもご参加いただき、「これからの子育てがもっと楽しくなるために、子育ての現状や取り組みのアイデアを教えてください」というテーマでワークショップを開催しました。

2. 開催概要とプログラム

開催概要	開催日時	令和6年7月13日（土）午前10時～12時
	開催場所	宇陀市役所 4階 会議室
	参加者	保護者：10名 保育士：3名 保健師：3名 計16名
プログラム	開会・オリエンテーション	ワークショップの進め方や宇陀市の現状について説明
	グループワーク	参加者の現状や今後のアイデアなどについて、メンバー間で意見共有
	全体共有	グループワークで挙げられた意見を全体で共有
	閉会	全体総括、閉会挨拶

3. グループワークの内容

楽しいこと／つらいこと
を教えてください

①現状の確認

子育てに関する楽しいこと／つらいことについて意見を書き出します。

具体的に
まとめてみましょう

②現状や課題の整理

①で挙げられた意見を整理し、どのような課題があるかを見えるようにします。

アイデアを
教えてください

③アイデア検討

①と②を踏まえ、「子育てが楽しい！」と思えるために必要な取組についてアイデアを出し合います。

4. グループワークで挙げられたご意見の紹介



楽しいこと

- 体調不良の時、ご近所さんやママ友などが手伝ってくれた時
- 子供とゆっくりした時間を過ごせる時
- 悩みを聞いてくれるお友達が子どもを通してできた
- 子どもが今までできなかったことが少しずつできるようになったとき
- 子どもが家のお手伝いをしてくれた時 など

つらいこと

- 体調不良でも子どもの相手をしなくてはならない
- 主人が忙しく1人ですべてやらないといけない時
- 夏休みに預ってもらうところに悩む
- 子どもの発達について戸惑うことがある
- 近場に小児科がないと大変
- 休日にパパと子どもがでかける場所がない
- 保護者同士の交流の場が少ない など



アイデア

- 1H（短時間）預かりがあると助かる
- 休日、パパ交流の場（支援センター）
- 園や支援センターの空きスペースでママたちだけのワークショップ
- 保護者仲間や子ども関係の人とのつながり、話せる場
- 気がねなく相談できる相談相手（専門家）
- 一時預かりや駅前託児 など



～グループワークのまとめ～

- 各グループの意見を確認すると、「子どもや保護者が集まる場の確保」「体調不良時や長期休暇中の預かり対応」「子どもの発達に対する不安」といったテーマの意見が共通して見られました。
- 「子どもや保護者が集まる場の確保」については、保護者同士での悩みや情報の共有の機会となるだけでなく、子ども・保護者双方にとって新しい友人関係を構築できる場として期待されているようです。
- 「体調不良時や長期休暇中の預かり対応」については、保護者自身が職場を休むことが難しいという意見に加え、リフレッシュのための時間も欲しいという意見とつながっています。
- 「子どもの発達・発達に対する不安」については、子どもの成長を子育てにおける楽しいこととして挙げる意見が多く見られる一方、こどもに対するしつけなど、子どもへの接し方に疑問を持つ意見、集団生活や学校生活への適応に不安を感じる意見などが見られました。
- その他にも、「子どもが安全に遊べる場所」「相談しやすい環境」「パートナーの協力」を求める意見も挙げられていました。